

蝶ヶ岳登山

日程：2016年5月4日～6日

メンバー：3名 O(73歳)、T(72歳)、N(76歳 L) いずれも男性

報告：N

この夏マウント・レーニア遠征を予定している A,O,T と同じくコロラド・フォーティナーズを予定しているNがトレーニングを兼ねて、5月5日～9日の好天の3日間を選んで徳本峠～蝶ヶ岳を縦走する計画であったが、天気予報が思わしくなく、①日程を1日繰上げ、②コースを横尾から蝶ヶ岳往復に変更した。なお,Aは急用が生じ、参加できなかった。

本番に備え、マイテントとし、食糧・装備の軽量化に努めた。

5月4日(祭) くもり、夕方から風と小雨、夜半強風と雨

10:45 八王子駅前をT車で発つ。高速道路は流れている。

14:45 沢渡第2駐車場 着。すぐタクシーで上高地へ。夕方から天気が悪化することが予報されていたので、遅くならないうちに露営することとし、横尾でなく徳沢園に変更した。

15:17 上高地 発。観光客は多いが、天気が安定しないためか例年より少ない感じである。

17:05 徳沢園 着。テント場は盛況である。テント張綱の重しとする石を探すのに苦労していると、雨が落ちてきた。「徳沢園」の情報では、長堀尾根の方が今年は歩き易いということで、徳沢園から往復することに変更した。夜半は強風と激しい雨に見舞われた。

5月5日(祭) 曇り、強風

各自朝食を摂り、5:20 発。すぐ急登が続く。ただし、2000m 前後まで雪はない。雪道はほぼ夏道どおりに踏まれており、歩き易い。昨日の雨は雪線以上では雪だったようである。林間から日の出は見えただが、青空は広がらず、西からの雲の流れも速い。途中遇った下山者が、「稜線は体が浮き上がるほど風が強かった。さらに強くなる予報である」と心配そうに教えてくれる。

小さな上り下りを繰り返し、妖精の池を通るころから風は少し弱くなる。

途中、アイゼンを着け、9:38 長堀山。



撮影Tさん

小さな上り下りを繰り返し、妖精の池を通るころから風は少し弱くなる。



撮影Tさん

稜線手前でアイゼンを脱ぎ、10:36 蝶ヶ岳。眺望はない。穂高・槍方面はもちろん、近くの常念岳も見えない。徳本峠への道は遠い。



早々に下山へ。11:33 長堀山。14:00 徳沢園。風は強いが晴れている。明神岳、六百山が良く見える。この天気はもう少し早く来るはずではなかったのか。装備を整理し、4時から飲み出し、貧しい食事を摂り、7時就床。



5月6日(金) 晴れ

早朝に起き、朝食も摂らず、上高地へ。この天気が昨日欲しかった。

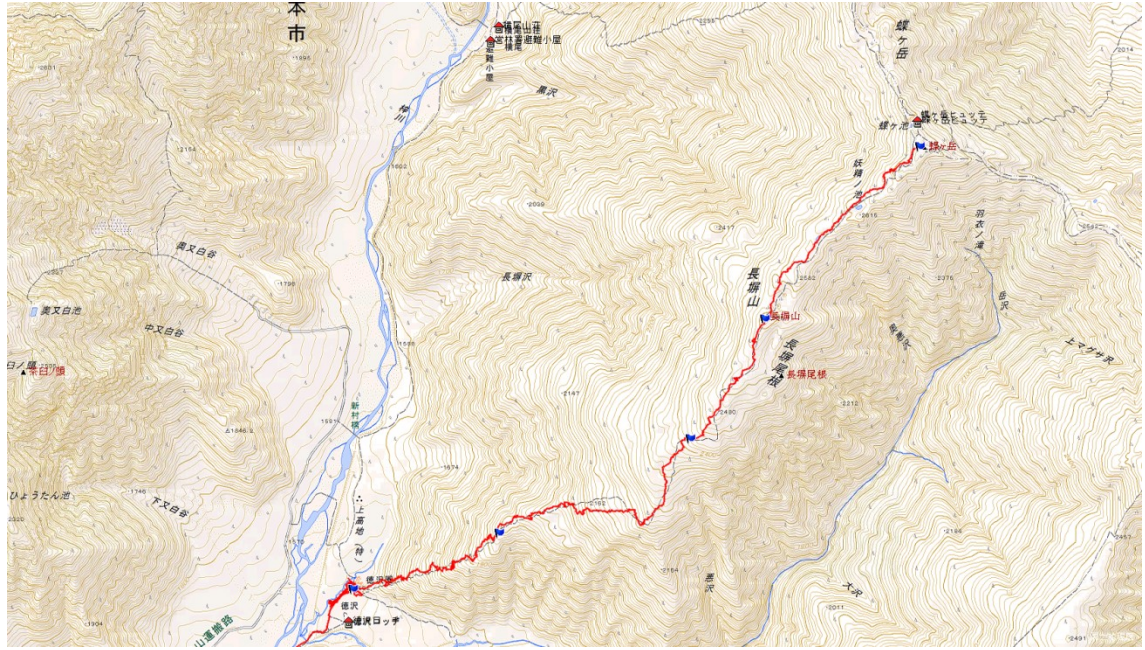


ニリンソウもハシリドコロも例年より早いとのこと。



7:40 上高地。帰途も順調に車が流れ、正午過ぎに橋本駅で解散。





(記録 N)